

公益財団法人

どうぶつ基金 活動報告書

2021

ANIMAL ACTION FUND ACTIVITY REPORT

2021/4/1—2022/3/31

さくら・にゃん・にゃん
3.22
3月22日は「さくらねこの日」



659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7
TEL:0797-57-1215 FAX:0797-25-2075
contact@doubutukikin.or.jp www.doubutukikin.or.jp

どうぶつ基金



※古紙リサイクル適性ランクリストのAランク資材のみを使用して製作されたリサイクル対応型印刷物です。古紙になった場合、印刷・情報用紙向けの製紙原料として使用が可能です。

一人でも多くの人に知ってもらいたいので、この資料を読み終えたら他の人に渡してください。





お礼とご報告

皆様へ

日頃より、どうぶつ基金の活動をご支援いただきありがとうございます。

どうぶつ基金ではTNRのため全国の協力病院で無料不妊手術を行っておりますが、地域によって供給力不足が続いています。そこで、2021年度はどうぶつ基金自ら福岡県、宮崎県、大阪府で「どうぶつ基金病院」を運営し、多くの野良猫に無料不妊手術を行いました。

また、動物病院のない鹿児島県トカラ列島の離島に出張手術に赴くなど、2021年度も殺処分ゼロ実現に向けて精力的に活動してきました。

そのかいあって、どうぶつ基金が行った「さくらねこ無料不妊手術」の累計手術頭数は2022年3月22日「さくらねこの日」には222,222頭を達成。殺処分ゼロの実現まで、一步一步確実に歩みを進めています。

これらは、同じ目標と高い志を共有するボランティア、獣医師、協働いただいた行政、そして、ご寄付をいただく皆様のご支援があってこそ成し遂げることができた成果です。

あらためて皆様にお礼を申し上げますとともに、一向に収まらないコロナ禍のなか、精一杯頑張って成し遂げた活動のすべてを感謝の気持ちをこめてご報告いたします。

さくらねこTNRで殺処分ゼロ！



公益財団法人どうぶつ基金 理事長

佐上邦久



222,222頭、達成

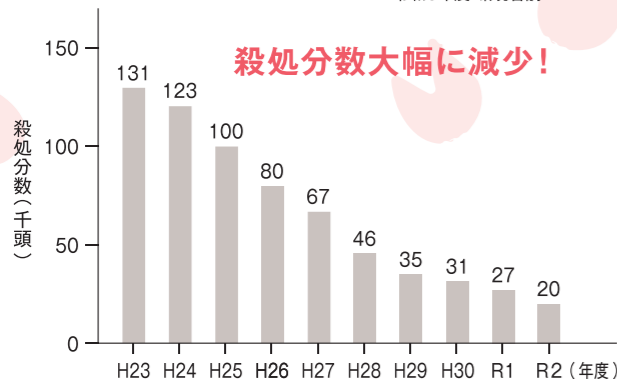
さくらねこが
222,222
頭になりました。

2021年度(2022年3月)、どうぶつ基金が行う「さくらねこTNR(無料不妊手術事業)」によって誕生したさくらねこの数が222,222頭を超えました。

■ 無料不妊手術数と殺処分数

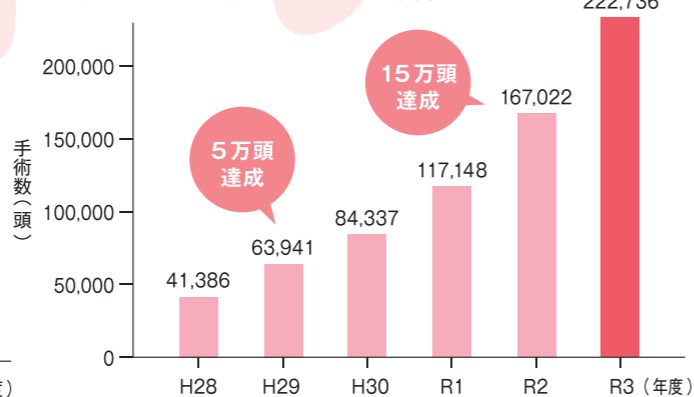
■ 全国の猫の殺処分数の推移

環境省HPより
令和3年度 環境省調べ



殺処分数大幅に減少!

■ どうぶつ基金さくらねこTNR数累計



2022年3月
222,222頭
達成!

さくらねこの数が増えるとともに、行政による猫の殺処分数は徐々に減少。さくらねこが増える=殺処分が減少する、ことは明らかです。殺処分ゼロまであと一息! TNR成功の3原則「スグやる! 全部やる! 続ける」を守り、みんなで殺処分ゼロを実現させましょう。

特設ページがご覧になれます。



殺処分ゼロ

さくらねこを **増** やす **1ヶ月**
キャンペーン♡

2022年2月22日/ねこの日 ~ 2022年3月22日/さくらねこの日

さくらねこからの感謝状

Letter of Thanks

さくらねこ誕生には、手術をしてくれる獣医師と、地域で猫たちを見守るボランティアの存在が欠かせません。

そこで、どうぶつ基金に登録している協働ボランティア、協力病院のなかから、顕著な貢献をされた方を選んで「さくらねこからの感謝状」を贈呈いたしました。

協働ボランティア / 行政 宮崎市

2022年3月17日、2021年にどうぶつ基金の「さくらねこ無料不妊手術」を活用した手術数が全国最多だったとして、宮崎市に感謝状を贈呈しました。宮崎市の清山市長は「助成をいただき、むしろ私たちが感謝しないと。地域のみなさんの地道な活動のおかげでもあり、大変ありがたい」と述べられました。



清山市長(写真右)



協力病院
TNR専門病院部門



協力病院
一般病院部門



協働ボランティア
団体 団体 団体



協働ボランティア
一般部門



いなぎ動物病院(埼玉県)

この度は感謝状をいただき、誠にありがとうございます。222,222頭のさくらねこ誕生の一助となれたことを、心から嬉しく思います。たくさんの方のご協力をいただきながら、多数の手術を行うことができました。手術に関係したすべての方に、心から感謝申し上げます。

おおにし動物病院(東京都)

さくらねこ222,222頭誕生おめでとうございます。微力ながらお力になったことに誇りを感じるとともに、日々、スタッフ一同TNR活動に尽力した結果、このように表彰していただき大変嬉しいです。1日も早い、殺処分ゼロの達成を目指して、ますます頑張ろうとスタッフみんなで決意を固くしております。これからもよろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人
群馬わんにゃんネットワーク

この度は、チケットの最多利用団体として、感謝状をいただきまして、心よりお礼を申し上げます。こちらの方が助けていただいておりますのに、感謝状までいただきまして、とにかく猫の為にこれからもメンバー一同、真摯に活動して参りたいと思っております。

古内 有子 さん

毎月野良猫の不妊手術にチケットを使わせて頂きまして、とても感謝しております。私達の地域は県内でも殺処分数が最多の地域で野良猫の数も多い所です。今後も地道に手術を続けて猫達が少しでも幸せに暮らせる地域にしていきたいと思っております。この度は、誠にありがとうございました。



1年間で **8,425** 頭のさくらねこが誕生!

TNR 地域集中プロジェクト



全国3カ所で直営病院を開院。
地域集中TNRで殺処分ゼロ達成に向け、さらに前進!

どうぶつ基金では、全国172の協力病院で年間5万頭を超える無料不妊手術を行っています。しかし、近隣に協力病院がない・少ないことによってTNRが進まない地域も多く、歯がゆい思いをしてきました。そこで考えたのが「TNR地域集中プロジェクト」。どうぶつ基金直営の無料病院を期間限定で展開し、その地域のTNRを促進するプロジェクトです。

選ばれたのは大阪・福岡・宮崎の3地域

開院場所を決めるにあたり、過去のチケット申請状況や配布状況などから以下の条件に当てはまる地域を検討しました。

- TNRが必要な猫が多い地域である
- TNRに取り組む協働ボランティアが多く不妊手術の需要が高い
- 協働ボランティア数に対して協力病院の数が少ない

その結果、大阪(八尾市)・福岡(筑後市)・宮崎(国富町)の3地域に決定。2021年4月、多くの方の協力を得て無事に開院することができました。

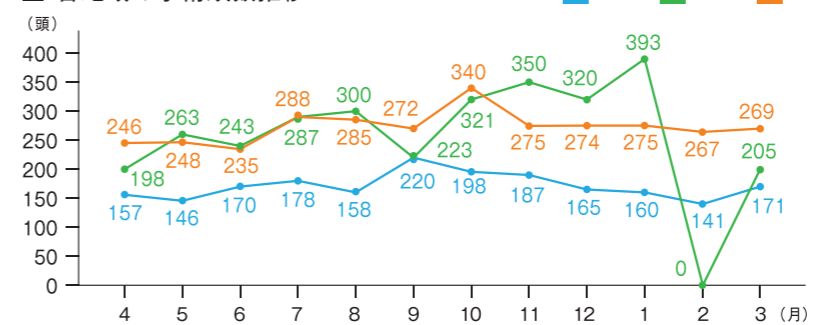
どうぶつ基金と行政との協働事業について

一般的に「行政との協働事業」というと、行政主導の税金事業が主です。が、どうぶつ基金の場合は、逆です。税金は使わず、どうぶつ基金が皆様からお預かりした寄付金で実行します。なので知恵を絞り、究極まで無駄を省いています。

1年間で8,425頭のさくらねこが誕生!

当初、プロジェクトの目標として「3地域で年間7,200頭の不妊手術実施」を掲げていましたが、目標を大きく上回る**8,425**頭のさくらねこが誕生しました。

■ 各地域の手術頭数推移 (2021年4月~2022年3月)



(注)福岡の2月実績が0頭になっているのは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となったため。

■ 各地域の累計手術頭数と平均頭数

	累計手術頭数	平均頭数/月
大阪	2,051頭	171頭
福岡	3,101頭	258頭
宮崎	3,273頭	273頭

全国から23名の獣医師が参加

3地域の「TNR地域集中プロジェクト」に参加した獣医師は計23名。各地域へ移動し、到着したらすぐに手術を開始します。1日に100頭ほどの不妊手術を行うため、ひとたび手術が始まれば休憩時間を取ることも難しくなります。それでも、すべての猫に安全な医療を提供するため気を抜くことはできません。強い使命感がなければ務まらないのです。1年間で8,425頭ものさくらねこが誕生したのは、全国から集まった高い志と確かな技術を持つ獣医師がいてこそでした。



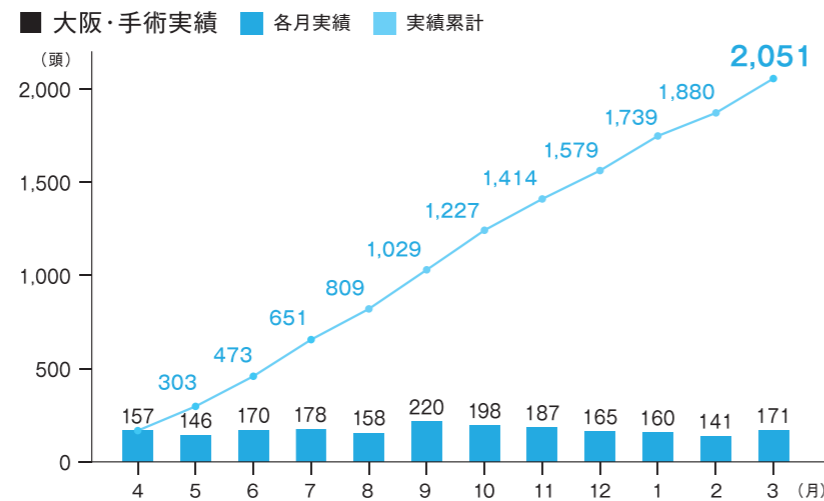
どうぶつ基金病院・大阪（八尾市）

大阪では1年間で2,051頭の不妊手術が行われました。福岡や宮崎と比べると約1,000頭も少ない数字です。なぜこれほどの差が出たのでしょうか？そこには大阪ならではの理由がありました。

- 累計手術頭数 **2,051** 頭
- 参加獣医師 **7** 名
- サポート団体 大阪ねこの会

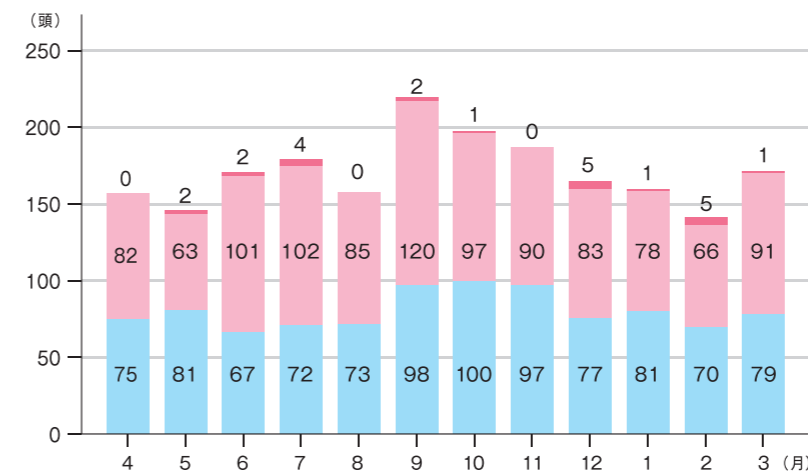
ボランティアと猫との知恵比べ

大阪は全国的に見てもTNRが進んでいる地域。そのため、他の猫が捕獲される様子を見て学習し、捕獲器に入らない賢い猫が増えているのです。あらゆる方法を駆使して何とか捕獲を試みるボランティアと、「捕まってるものか」と捕獲の手をすり抜ける猫との知恵比べが繰り返されています。



9月以外は200頭を超えることはなく、月平均は171頭でした。TNRが進めば進むほど猫が捕獲しづらくなる…、大阪ならではの課題と言えるでしょう。

■ 大阪 オス・メス内訳 (2021年4月～2022年3月)



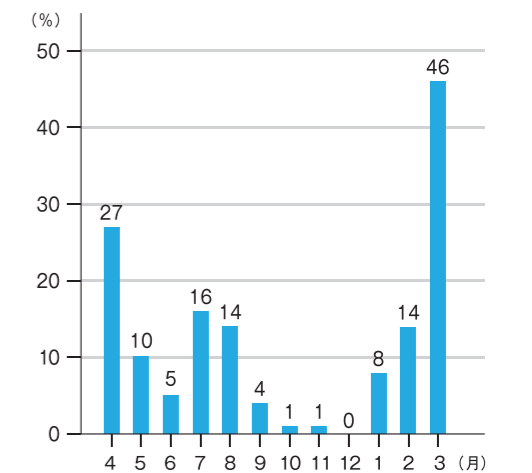
3月は搬送されたメス91頭のうち42頭が妊娠していました。猫の身体への負担を考えると、できる限り繁殖期を迎える前に捕獲をして不妊手術を行うことが重要です。

※耳カットのみとは：麻酔後、ワクチン投与・ノミダニ駆除・耳カットをしたが、手術前に不妊手術済であったことが獣医により確認されたため手術を行わなかった猫のことです。

ボランティアの努力が実を結んだ1年間

猫が捕獲しづらくなっている大阪で達成した2,051頭の手術実績は、「殺されるために生まれてくる命を1つでも減らしたい」と、日々寝食を忘れて捕獲に尽力したボランティアがいたからこそその結果です。

■ 大阪 各月メスの妊娠率の推移 (2021年4月～2022年3月)





累計手術頭数 **3,101** 頭!



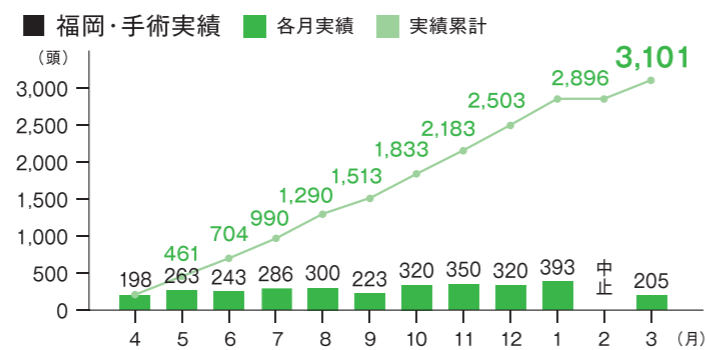
どうぶつ基金病院・福岡（筑後市）

福岡は、病院の所在地である筑後市、筑後市教育委員会からの後援を受けてスタート。行政との協働を強く打ち出し、プロジェクト開始以降、多くの地元行政がどうぶつ基金病院を利用しました。

- 累計手術頭数 **3,101** 頭
- 参加獣医師 **15** 名
- サポート団体 一般社団法人リアン

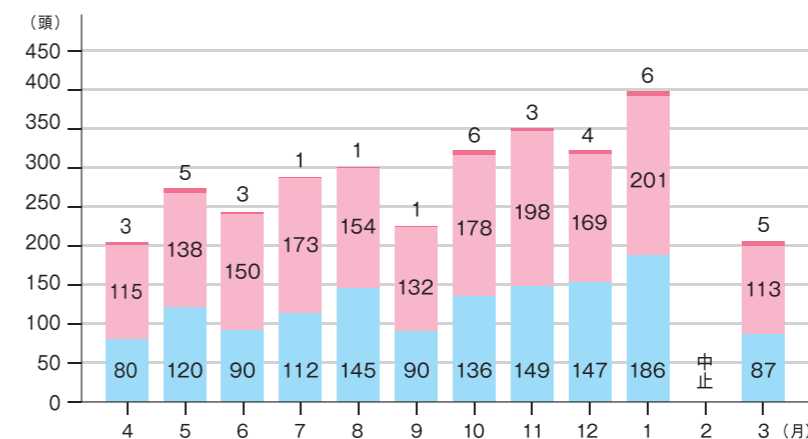
登録行政5倍に! 変わる行政の意識

福岡県では、どうぶつ基金にボランティア登録する行政が急増。プロジェクト開始前はたった5団体しかなかった協働行政が今では25団体と、実に5倍増となりました。最初はTNRの効果に半信半疑でも、どうぶつ基金病院を利用した近隣行政が成果を上げている様子を目の当たりにすると考え方も変わります。地元ボランティアの呼びかけも功を奏し、今や全国で2番目に協働行政が多い地域となりました。



開始すぐの4月こそ198頭でしたが、それ以降は毎月200頭超（最大時393頭、月平均258頭）が搬送されています。2月は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中止、3月も感染対策のため手術頭数を減らしたことで、累計頭数は3,101頭にとどまりました。しかし、月を追うごとに手術頭数は増加し、福岡県内でのTNRの需要の高さがうかがえる結果となりました。

■ 福岡 オス・メス内訳 (2021年4月～2022年3月)



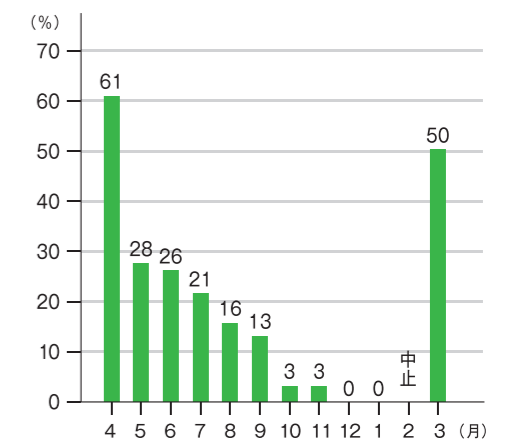
福岡でも繁殖期となる3月、4月の妊娠率が高くなりました。この妊娠率を地域全体に当てはめて考えると、多くの猫が出産したであろうことが想像できます。

※耳カットのみとは：麻酔後、ワクチン投与・ノミダニ駆除・耳カットをしたが、手術前に不妊手術済であったことが獣医により確認されたため手術を行わなかった猫のことです。

継続は力なり

福岡はTNRを必要とする猫の数もまだ多く、しばらくは繁殖期の妊娠率も高い水準で推移するでしょう。しかし、TNRに取り組む行政は25団体に増え、地域住民の意識も高まっています。TNRは継続してこそ効果を発揮します。今後は地元行政や地元ボランティアだけではなく、地元住民も一丸となって取り組むことが求められます。

■ 福岡 各月メスの妊娠率の推移 (2021年4月～2022年3月)





累計手術頭数 3,273 頭!

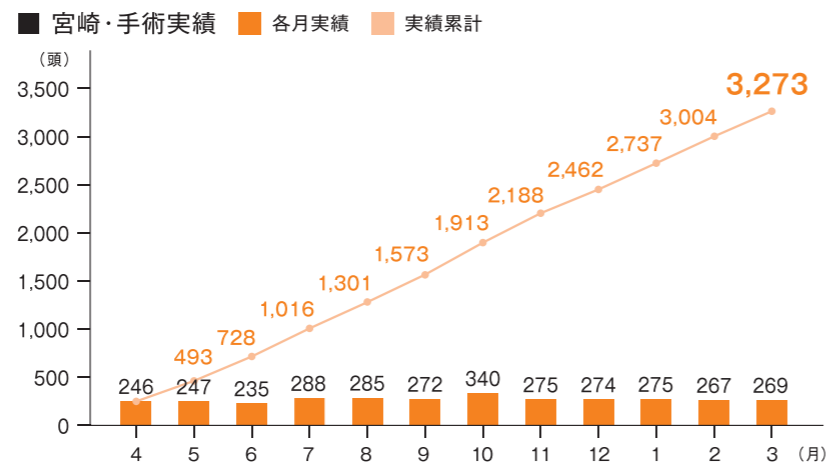
どうぶつ基金病院・宮崎（国富町）

どうぶつ基金の協力病院は宮崎県内にたった1件。温暖な気候に恵まれ、1年間で複数回出産する猫も少なくない宮崎県では、ボランティアの努力もむなしく、TNRが猫の繁殖スピードに追い付いていませんでした。

- 累計手術頭数 **3,273** 頭
- 参加獣医師 **3** 名
- サポート団体 宮崎ねこの会

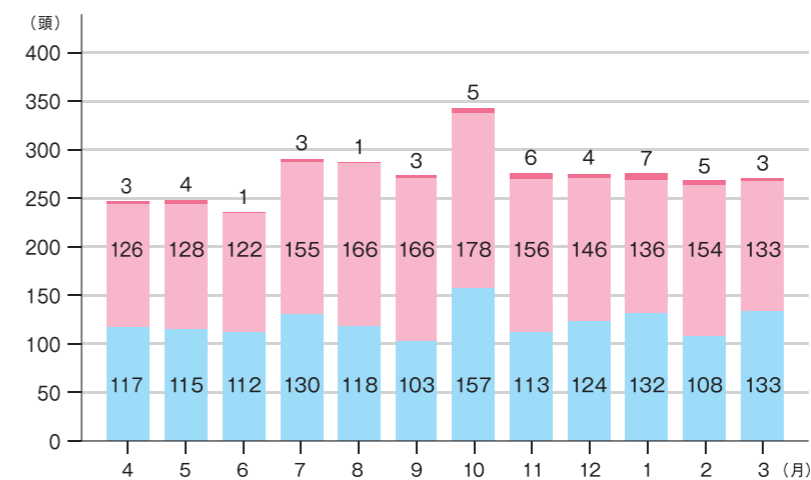
宮崎県内の不妊手術数が大幅増

どうぶつ基金病院で不妊手術を受けた猫は3,273頭となり、年間2,000頭という当初の目標を大きく上回りました。動物愛護センターなどで行われている不妊手術数を含めると、県内の不妊手術数は年間5,000件以上となり、TNRの促進に大きく貢献することができました。



不妊手術頭数が3,273頭（月平均273頭）と3地域のなかで最も多かった宮崎。チケットの使用率（配分したチケットのうち実際にチケットが使用された割合）も概ね90%前後と高い水準で推移していました。これはボランティアの頑張りの証です。

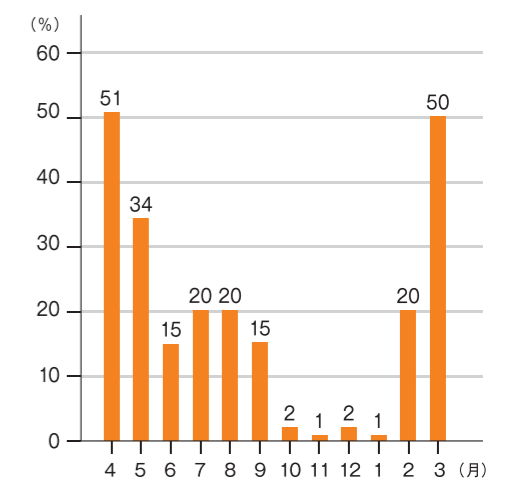
■ 宮崎 オス・メス内訳 (2021年4月～2022年3月)



1年を通して妊娠率が0%になることはなく、少数ではありますが、12月や1月でも妊娠している猫が見られました。

※耳カットのみとは：麻酔後、ワクチン投与・ノミダニ駆除・耳カットをしたが、手術前に不妊手術済であったことが獣医により確認されたため手術を行わなかった猫のことです。

■ 宮崎 各月メスの妊娠率の推移 (2021年4月～2022年3月)



自走に向けた取り組みが必要

この1年で宮崎のTNRは大きく進みましたが、プロジェクト終了とともに元の状態に戻るのであれば意味がありません。このプロジェクトは言わばTNR促進のための土台作り。3,273頭のさくらねこが誕生したという成果を無駄にしないためには、行政を含めた地域全体で自走に向けた取り組みが必要でしょう。

どうぶつ基金が実施するさくらねこ無料不妊手術。

2021年度は **55,714** 頭の
さくらねこ無料不妊手術を行いました。

2020年度、猫の殺処分数は、全国で19,705頭でした。保健所やセンターに持ち込まれた所有者不明猫のうち81%が生まれて間もない幼齢猫でした。産まれてすぐに殺される。そんな悲劇は、不妊手術さえしていれば起きなかったのです。どうぶつ基金では不妊手術が、殺処分ゼロへの最も有効な手段と考えています。2021年度は、55,714頭の猫に不妊手術を実施しました。

- 登録行政数 **358** 件
- 一般枠協働ボランティア(のべ) **11,152** 名
- 協力病院数 **172** 病院
- 出張手術の回数と手術頭数(総数) **3** 回(十島村・三重県) 累計 **431** 頭

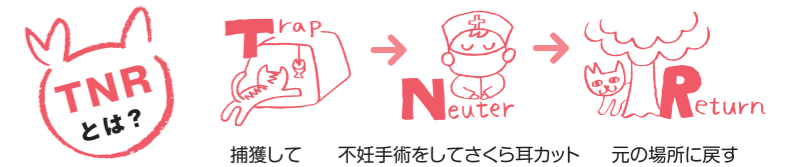
■ 2021年度 登録行政一覧(358団体) (2022年3月31日 現在)

【北海道】古平町 / 新ひだか町 / 倶知安町 / 占冠村 / 夕張市営住宅管理センター / 蘭越町 / 名寄市 / 登別市 / 初山別村 / 室蘭市 / 苫小牧市 / 中札内村 / 苫前町 / 千歳市 / 江別市 / むかわ町 / 根室市社会福祉協議会 / 共和町 / 森町 / 北海道軽種馬振興公社 / 小樽市 / 岩見沢市福祉事務所 / 仁木町【青森県】五所川原市 / 南部町 / 青森市 / 東北町 / 十和田市 / 五戸町 / 三戸町【岩手県】遠野市【宮城県】石巻保健所 / 利府町 / 気仙沼保健所【福島県】いわき市 / 白河市 / 広野町【茨城県】笠間市 / 小美玉市 / 潮来市 / 阿見町 / 北茨城市 / 行方市 / 筑西市 / 茨城町 / 常総市 / 八千代町 / 下妻市 / 稲敷市 / 日立市 / かすみがうら市 / 取手市 / 坂東市 / 大洗町 / 龍ヶ崎市 / 高萩市 / 常陸大宮市 / 石岡市 / 鉾田市【栃木県】小山市 / 足利市【群馬県】大泉町 / 富岡市 / 高崎市動物愛護センター / 桐生市 / 甘楽町 / 伊勢崎市 / 渋川市 / 下仁田町 / 安中市 / 藤岡市 / 前橋市【埼玉県】上里町 / 川島町 / 白岡市 / 公益財団法人戸田市水と緑の公社 / 公益社団法人杉戸町シルバー人材センター / 嵐山町 / 熊谷市 / 新座市 / 深谷市 / 飯能市 / 朝霞市 / 八潮市 / 久喜市 / 松伏町 / 所沢市 / ふじみ野市 / 日高市 / 富士見市 / 羽生市 / 幸手市 / 加須市 / 鳩山町 / 杉戸町 / 越谷市 / 小川町 / 和光市 / 神川町 / 行田市 / ときがわ町 / 毛呂山町 / 東松山市 / 川越市保健所 / 入間市 / 吉見町 / 三郷市 / 坂戸市 / 吉川市 / 宮代町 / 浦和競馬組合 / 本庄市【千葉県】八千代市 / 野田市 / 袖ヶ浦市 / 我孫子市 / 千葉市動物保護指導センター / 市川市 / 君津市 / 富津市 / 多古町 / 長生村 / 柏市動物愛護ふれあいセンター / 一宮町 / 白子町 / 松戸市 / 長柄町 / 木更津市霊園 / 流山市 / 四街道市 / 佐倉市【東京都】東久留米市 / 中野区保健所 / 東村山市 / 府中市 / 清瀬市 / 瑞穂町 / 武蔵村山市 / あきる野市 / 青梅市 / 福生市 / 八王子市 / 日野市 / 三鷹市 / 多摩市 / 中央区保健所 / 小平市 / 西東京市 / 狛江市 / 奥多摩町 / 調布市 / 東大和市【神奈川県】中井町 / 真鶴町 / 綾瀬市 / 寒川町 / 小田原市 / 大磯町 / 茅ヶ崎市 / 厚木保健福祉事務所 / 厚木保健福祉事務所大和センター / 湯河原町 / 横須賀市動物愛護センター / 座間市 / 箱根町【富山県】富山市保健所【山梨県】山梨県中北建設事務所 / 西桂町 / 上野原市 / 甲府市 / 市川三郷町 / 甲斐市 / 鳴沢村 / 山梨市 / 忍野村 / 笛吹市 / 甲州市 / 身延町 / 南部町 / 大月市 / 南アルプス市 / 富士吉田市 / 山中湖村 / 富士河口湖町 / 都留市【長野県】佐久穂町 / 東御市 / 長和町【岐阜県】高山市 / 川辺町 / 本巣市 / 可見市 / 岐阜県健康福祉部【愛知県】知立市 / 犬山市 / 西尾市 / 北名古屋 / 一宮市保健所 / 武豊町 / 安城市 / 新城市 / 常滑市 / 江南市 / 半田市【三重県】三重県動物愛護推進センターあすまいる / 伊賀保健所 / 伊賀市 / 多気町 / 大紀町【滋賀県】堅田漁業協同組合 / 多賀町 / 矢橋幡帆島公園 / 彦根市 / 草津市【京都府】長岡京市【大阪府】大泉緑地管理事務所 / 岸和田市 / 浜寺公園管理事務所 / 二色の浜公園管理連合会 / 山田池公園管理事務所 / 枚岡公園管理事務所 / 島本町 / 大阪学院大学 / 八幡屋スポーツパークセンター / 深北緑地管理事務所 / 鶴見緑地公園事務所 / 泉大津市 / 太子町 / 堺保健福祉センター / 守口市 / 富田林市 / 三ノ瀬公園 / 柏原市 / 河南町 / 阪南市 / 門真市 / 大阪府営寝屋川公園 / 羽曳野市 / 松原市 / 大阪府大東市 / 貝塚市 / 花園中央公園 / 久宝寺緑地管理共同体 / 堺市南区 / 藤井寺市 / 寝屋川市 / 泉佐野市【兵庫県】尼崎市動物愛護センター / 播磨町 / 香美町 / 川西市 / 太子町 / 鳴尾浜臨海公園【奈良県】王寺町 / 高取町 / 五万人の森公園 / 桜井市 / 五條市 / 御所市 / 川西町 / 橿原市 / 三郷町 / 宇陀市 / 大和郡山市 / 斑鳩町 / 大和高田市 / 天理市 / 奈良市【和歌山県】橋本市 / 新宮保健所【鳥取県】日南町【島根県】出雲市【山口県】下関市【高知県】高知県立美術館 / 土佐清水市【福岡県】久留米市 / 太宰府市 / 福岡市動物愛護管理センター / 小郡市 / 芦屋町 / 遠賀町 / 大牟田市 / みやま市 / 大川市 / 吉富町 / 新宮町 / 柳川市 / 篠栗町 / 広川町 / 志免町 / 古賀市 / 八女市 / 那珂川市 / 筑後市 / 大野城市 / 飯塚市 / 筑紫野市 / 宗像市 / 行橋市 / 福津市【佐賀県】基山町 / 多久市 / 上峰町【長崎県】大村市 / 長崎市【熊本県】熊本市動物愛護センター / 南関町 / 長洲町 / 菊池保健所【宮崎県】延岡市 / 国富町 / 三股町 / 木城町 / 美郷町 / 高千穂町 / 日南市 / 宮崎市 / 日向市【鹿児島県】始良市 / 湧水町 / 阿久根市 / さつま町 / 志布志市 / いちき串木野市 / 伊佐市 / 鹿児島市保健所 / 十島村 / 日置市【沖縄県】座間味村 / 八重瀬町 / 金武町 / うるま市 / 北谷町 / 南城市 / 浦添市 / 那覇市地域包括支援センター / 今帰仁村 / 沖縄県総合運動公園 / 渡嘉敷村 / 与那原町 / 宜野座村 / 安部区 / 北中城村 / 嘉陽区公民館 / 中城村 / 名護市 / 伊江村 / 嘉手納町 / 豊見城市 / 宜野湾市 / 沖縄市 / ぎのわん海浜公園 / 沖縄県中部土木事務所 / 読谷村 / 南風原町 / 本部町 / 恩納村 / 糸満市

どうぶつ基金が推進するさくらねこTNR。

- 即行** **スグやる** 猫は1年に3回出産することができ、1度に5~7頭の子猫を産むことができます。生まれた子猫は6か月たつと妊娠が可能な年齢になり孫猫を産みます。TNRをゆっくり行っている、猫の繁殖スピードに追い付けません。
- 徹底** **全部やる** 90%の猫にTNRをしても、残った猫からあつというまに増えてしまいます。だいたいやって満足するのではなく、100%の猫にTNRを行うことが大切です。
- 継続** **続ける** 100%を目指してTNRを行っても、捕獲もれや新入りが見つかります。その都度、未手術の猫を見つけ、素早く対応していく管理体制を維持できれば殺処分ゼロ、苦情ゼロが実現できます。

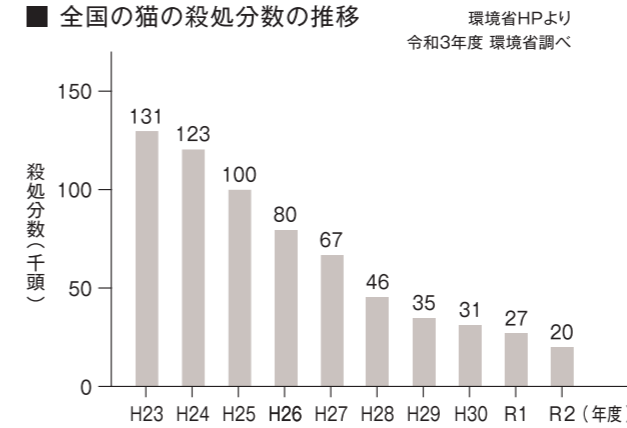
さくらねこTNR
(TNR先行型地域猫活動)



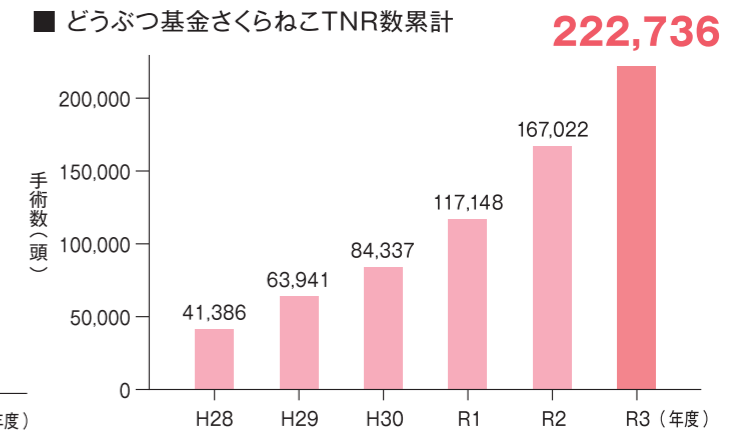
「飼い主のいない猫」に対し「さくらねこTNR」を実施することで繁殖を防止し、「地域猫」「さくらねこ」として一代限りの命を全うさせ、「飼い主のいない猫」に関する行政(保護団体)などへの苦情や、殺処分の減少に寄与する活動です。

TNRは、トラップ(捕獲して)ニューター(不妊手術をしてさくら耳カット)リターン(元の場所に戻す)の略。どうぶつ基金では、TNRの実績豊富な獣医師や専門スタッフが、ご相談を受け付けています。

■ 全国の猫の殺処分数の推移



■ どうぶつ基金さくらねこTNR数累計



1,379組の協働ボランティアが18,799頭の猫を保護・里親探しをしました。

さくらねこTNRは猫を捕獲して(Trap)不妊手術をして(Neuter)元いた場所に戻す(Return)ことが原則なのですが、多頭飼育崩壊や疾病、元いた場所の環境が劣悪など、様々な事情によりどうしても元いた場所にリターンできないことがあります。そんな時は協働ボランティアが保護して里親探しをする場合があります。ボランティアはほかに保健所で殺処分される猫の引き取りもしています。どうぶつ基金の1,379組の協働ボランティアは1年間に18,799頭の保護・里親探しをしました。

【?】 協働ボランティアとは

どうぶつ基金の活動を共に支え、殺処分ゼロを目指す仲間たちのことです。協働ボランティアの多くはTNRのT(捕獲)とR(リターン)とその後の動物の世話をします。なかには出張手術にボランティアとして参加する獣医やAHTもいます。ほかにも、パソコン、翻訳、デザイナー、マーケティング戦略など、仕事を通じて培ったスキルを活用してプロボノ参加する方や企業もいます。どうぶつ基金の活動は共に殺処分ゼロを目指すボランティアとの協働によって成り立っています。

※ ボランティア参加の応募はHPから受け付けています。

多頭飼育救済

ヒトも動物も救う、
それがどうぶつ基金の多頭飼育救済。



※うち2件は犬の多頭飼育救済（21頭）

多頭飼育崩壊の現場は想像を絶するほど悲惨です。糞尿やゴミであふれかえり、清潔な水も十分な餌もない、ケガも病気も放置され、子猫や子犬が生まれては死んでいく――。

まさに地獄のような環境で生きることを余儀なくされた猫や犬を救うための最初の一步、それは全頭の不妊手術です。繁殖を止めることで、飼い主に考える・行動できる時間を与え、関係者のサポートのもと生活を立て直してもらおう。どうぶつ基金の多頭飼育救済は、ヒトと動物を同時に救うための支援であり、ボランティアの二次崩壊の防止にも役立っています。



2021年度、どうぶつ基金が実施した多頭飼育救済支援は84件に達し、昨年度より31件増となりました。行政が手術費用を助成することが困難な多頭飼育崩壊において、どうぶつ基金の多頭飼育救済支援は実効性が高く、複数件の支援を要請する行政も増えています。

昨年度、環境省が公表した多頭飼育対策ガイドラインの効果なのか、2021年度は複数部局が連携して対応にあっているケースが増えました。また、官民連携が進んでいる行政では、支援実施後も当事者に対する多角的かつ持続的なサポートが行われています。



環境省「人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン～社会福祉と動物愛護管理の多機関連携に向けて～」

voice

福岡県広川町

当時は「どこから手をついたらよいのか」と感じるほどの思わしくない状況であり、長期的な改善策を考えておりました。しかし、どうぶつ基金やボランティア団体の協力もあり、全頭に不妊手術をすることができました。適正な飼育環境の継続が次のステップになるため、当事者本人の今後の努力にも期待したいと思います。

山梨県南アルプス市

すべての猫の不妊手術が終了し、不要なものも処分して生活環境も良好です。この制度を利用でき、当事者はとても感謝していました。今後は、二度と元に戻らないように生活していくとのことです。

茨城県高萩市

ボランティアの協力もあり、概ねスムーズに実施できました。不妊手術を実施したことで、頭数の抑制だけでなく、スプレーによる悪臭がなくなり、当事者も大変助かったと安心した様子でした。猫の逃走防止についても助言し、今後も困ったときや悩みごとは一人で抱えず、市やボランティアへ相談するようお願いしています。

北海道名寄市

どうぶつ基金の支援とボランティアの協力をいただき、解決にむけて大きく前進することができました。正直、行政だけでは、このような対応は無理だったと感じています。もっと、早期発見、早期対応が取れていればよかったと感じています。

多頭飼育救済 支援事例

○ 宮崎県 宮崎市



○ 埼玉県 東松山市



2021年度 多頭飼育救済累計表 (2022年3月31日現在)

申請者	オス	メス	耳カットのみ	合計
兵庫県尼崎市	10	5	0	15
青森県十和田市	9	6	0	15
北海道千歳市	16	9	0	25
山梨県笛吹市	11	14	0	25
富山県富山市	4	5	0	9
福岡県筑紫野市	3	5	0	8
神奈川県海老名市	0	0	0	0
茨城県日立市	3	2	0	5
茨城県龍ヶ崎市	10	6	0	16
青森県東北町	8	1	0	9
福岡県古賀市	6	3	0	9
東京都日野市	20	18	0	38
北海道室蘭市(犬)	5	5	0	10
福岡県久留米市	8	6	0	14
群馬県藤岡市	13	5	0	18
茨城県かすみがうら市	13	5	0	18
群馬県渋川市	4	6	0	10
和歌山県新宮市	2	4	0	6
福岡県篠栗町	7	19	0	26
北海道苫小牧市	0	1	2	3
埼玉県入間市	0	0	0	0
青森県五戸町	8	9	0	17
山梨県甲斐市	3	10	0	13
宮崎県宮崎市	0	16	0	16
茨城県行方市	4	2	0	6
東京都東大和市	30	38	0	68
青森県南部町	3	4	0	7
群馬県前橋市	9	10	0	19

申請者	オス	メス	耳カットのみ	合計
鹿児島県鹿児島市	6	6	0	12
埼玉県東松山市	5	8	0	13
東京都日野市	3	6	0	9
群馬県伊勢崎市	10	13	0	23
佐賀県多久市	24	0	0	24
福岡県筑紫野市	0	4	0	4
福岡県新宮町	3	5	0	8
北海道登別市	0	0	0	0
沖縄県与那原町	5	9	0	14
福岡県篠栗町	0	0	0	0
群馬県伊勢崎市	9	9	0	18
兵庫県尼崎市(犬)	6	5	0	11
茨城県高萩市	0	7	0	7
千葉県多古町	4	6	0	10
群馬県多古町	4	2	0	6
群馬県甘楽町	11	5	0	16
山梨県甲斐市	4	4	0	8
東京都東大和市	10	0	0	10
鳥取県日南町	4	4	0	8
神奈川県小田原市	6	7	0	13
茨城県かすみがうら市	10	10	0	20
奈良県三郷町	7	10	0	17
宮崎県高千穂町	13	6	0	19
千葉県君津市	17	28	0	45
山梨県甲斐市	5	3	0	8
茨城県日立市	12	7	0	19
大阪府堺市	0	0	0	0
福岡県広川町	11	11	0	22

申請者	オス	メス	耳カットのみ	合計
埼玉県東松山市	1	1	0	2
群馬県安中市	12	6	0	18
山梨県甲斐市	1	3	0	4
群馬県渋川市	9	7	0	16
北海道室蘭市	8	6	0	14
福岡県新宮町	6	7	0	13
福岡県古賀市	2	1	0	3
千葉県野田市	7	13	0	20
千葉県我孫子市	31	27	0	58
鹿児島県伊佐市	7	7	0	14
福岡県古賀市	17	0	0	17
沖縄県糸満市	8	10	0	18
長野県長和町	9	7	0	16
山梨県南アルプス市	15	15	0	30
鹿児島県鹿児島市	13	11	0	24
群馬県渋川市	8	6	0	14
長野県東御市	6	9	0	15
埼玉県入間市	13	15	0	28
北海道名寄市	4	6	2	12
長野県佐久穂町	11	15	0	26
兵庫県川西市	5	4	0	9
千葉県千葉市	7	13	0	20
北海道夕張市	8	9	0	17
山梨県甲斐市	0	1	0	1
福岡県那珂川市	13	6	0	19
埼玉県東松山市	6	4	0	10
長野県東御市	6	7	0	13
群馬県前橋市	9	11	0	20



協力病院

全国の協働ボランティアと協力病院。

これまでに **222,736** 頭の さくらねこがうまれました。

さくらねこ無料不妊手術事業では、飼い主のいない猫の問題を、殺処分ではなく不妊手術によって解決しようとする行政や、ボランティアからの申請を受け、どうぶつ基金の協力病院で使用可能な「さくらねこ無料不妊手術チケット」を発行し、活動を支援しています。全国の協力病院とボランティアとの協働により、これまでに222,736頭のさくらねこが協力病院でうまれました。

2021年度
協力病院全国
172
病院



(2022年3月31日 現在) ※ 詳細は下記参照ください。

- 北海道**
 - 札幌市 えぞりすどうぶつクリニック
 - 日高郡 本間動物病院
 - 沙流郡 るぼんず
 - 千歳市 新千歳動物病院
 - 江別市 Mobile VET Office
- 青森**
 - 西津軽郡 よなが動物病院
 - 八戸市 八戸のらねこ病院
- 宮城**
 - 塩竈市 フォルテ動物病院
- 秋田**
 - にかほ市 木村いぬ・ねこ病院
- 福島**
 - いわき市 いながき動物病院 いわき分院
- 茨城**
 - つくば市 ノモベットメディカル
 - 鹿嶋市 ノラネコ動物病院
 - 石岡市 茨城さくらねこクリニック
 - 石岡市 石岡中央動物病院
 - 土浦市 いながき動物病院 土浦分院
 - 牛久市 D&C 獣医科クリニック
- 栃木**
 - 足利市 柿沼ベット病院
- 群馬**
 - 邑楽郡 中村動物病院
 - 桐生市 いながき動物病院 桐生分院
 - 高崎市 シートン動物病院
 - 藤岡市 ふう動物病院 群馬分院
- 埼玉**
 - 久喜市 久喜動物クリニック
 - 八潮市 あーす動物病院
 - 深谷市 合同会社 Vets Consulting
 - 熊谷市 ほかさの動物病院

- 上尾市 堀どうぶつ病院
 - 戸田市 ミニオン動物病院
 - 八潮市 ベットクリニックローバー
 - 蕨市 ワラビー動物病院
 - 富士見市 ふじみ野動物病院
 - さいたま市 もも動物病院
 - 越谷市 いながき動物病院
 - 戸田市 アーボック動物病院
 - 朝霞市 神山動物病院
- 千葉**
 - 松戸市 新松戸どうぶつ病院
 - 習志野市 カンナ動物病院 幕張医院
 - 流山市 カモミール動物病院 おおたかの森医院
 - 柏市 カモミール動物病院
 - 石井獣医科
 - 川崎市 くわじま動物クリニック
 - 袖ヶ浦市 ふう動物病院 袖ヶ浦
 - 東金市 いながき動物病院 東金分院
 - 市川市 JUN 動物病院
 - 東京**
 - 足立区 ドラセナ動物病院
 - 中野区 フェネル動物病院
 - 青梅市 ふう動物病院
 - 練馬区 ボラン動物病院
 - 調布市 調布動物医療センター
 - 八王子市 八王子 moco どうぶつ病院
 - 大田区 一二三動物病院
 - 大田区 ウルトラ動物病院
 - 渋谷区 フェネル動物病院 笹塚本院
 - 千代田区 番町いぬねこクリニック
 - 福生市 福生動物病院
 - 練馬区 むらかみ動物医院
 - 町田市 明和動物愛護病院
 - 足立区 こえもん動物病院
 - 足立区 大師前どうぶつ病院
 - 狛江市 フルヤ ベットクリニック

- 大田区 いまい動物病院
 - 日野市 きもと動物病院
 - 渋谷区 代官山動物病院
 - 武蔵野市 三鷹獣医科グループ
 - 江戸川区 えどがわ犬猫びょういん
 - 東大和市 湖畔どうぶつ病院
 - 立川市 おおにし動物病院
 - 調布市 くるみ動物病院
 - 立川市 立川プラスワン動物病院
 - 武蔵野市 ひだまり動物病院 吉祥寺
 - 大田区 西馬込動物病院
 - 江戸川区 モネ動物病院
 - 江戸川区 平井動物病院
- 神奈川**
 - 横浜市 ライラック動物病院 新山下医院
 - 川崎市 ヒナギク動物病院
 - 横須賀市 川畑動物病院
 - 横浜市 ブルーム動物病院
 - 愛甲郡 VOC 外猫診療所
 - 横須賀市 小川動物病院
 - 横須賀市 NPO Purrfect Stray and Rehab Sanctuary
 - 茅ヶ崎市 まつうら動物病院
 - 大和市 山口獣医科病院
 - 小田原市 swing どうぶつ病院
 - 横浜市 さかい犬猫クリニック
 - 川崎市 ヴィータ動物病院
 - 相模原市 ふう動物病院
 - 川崎市 モモ動物クリニック
 - 相模原市 相模原どうぶつ医療センター
 - 相模原市 陽光台グランベッツ動物病院
 - 相模原市 いなば動物病院
 - 横浜市 シンシア動物病院
 - 新潟**
 - 佐渡市 島のどうぶつ診療所
 - 魚沼市 ゆきのくに動物病院

voice

TNRによる猫問題解決は 獣医師冥利につきる



いながき動物病院
院長 稲垣 将治

猫の繁殖力を抑えるためには、一度にたくさんの不妊手術をする必要があります。毎月少しずつなら効果は限定的です。短期間で多数の手術をする機会を与えてくれた、どうぶつ基金様には感謝しかありません。無料不妊手術事業のチケット発行数は、以前よりも格段に増えています。事業を利用したい、支援したい、という人が増えた結果です。飼い主のいない猫も大切にしたい、という人が日本中にいるのだと感じます。猫の繁殖力の問題を考える時、世界的には「TNRか、殺処分か」という議論が未だにあります。獣医師として、不妊手術で猫の問題緩和を目指すことはとても幸せなことです。今後もなるべく多数の手術を受け入れられるよう、技術や組織力向上の努力を続けて参ります。

voice

ボランティアの方の喜びを モチベーションに



おおにし動物病院
院長 大西 学

当院では日々の診療や手術に加え、TNRも大事な活動となっております。たくさんのボランティアの方たちに「先生ありがとうね」と喜んでいただけることがモチベーションとなっております。ボランティアの方々たくさんの猫たちに不妊手術を行うために、さくらねこ無料不妊手術チケットは優れたシステムだと思います。「丁寧に安全・安心な手術」を心がけて1頭でも多くのさくらねこの誕生に協力できるよう、スタッフ一同精進してまいります。



猫の繁殖を抑える 「さくらねこTNR」確実に効果あり!

2021年度は3,142名の個人(一般枠)、
43団体、213の行政と協働し、約55,000頭の
さくらねこ無料不妊手術を実施しました。

どうぶつ基金では、毎年、協働ボランティアに前年度の活動状況についてアンケートを行っています。アンケート結果からは、さまざまな課題が浮かび上がるだけでなく、猫問題を通じた社会のちょっとした変化も読み取ることができます。

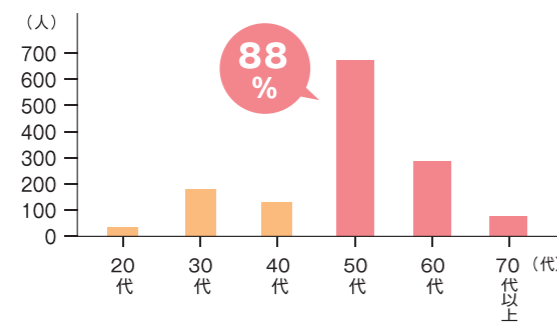
■ 一般枠アンケート結果

- アンケート対象となる一般枠マイページ登録者数(2022年3月31日) **11,152** 名
- 2021年度さくらねこ無料不妊手術チケット一般枠申請者数 **3,142** 名
- アンケート有効回答数 **1,756** 件

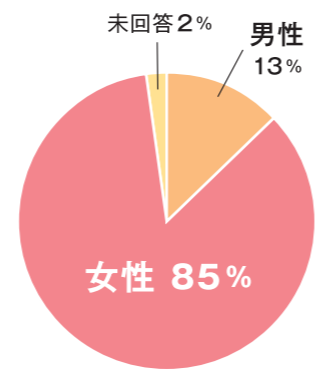
[地域のTNR活動を支えているのは40代以上の女性]

男女比では女性が85%、年齢層では40代以上が88%でした。今後、ボランティアの高齢化が進むことが予想され、20代~30代の参加をいかに促すかが大きな課題となります。

■ 協働ボランティアの年齢層



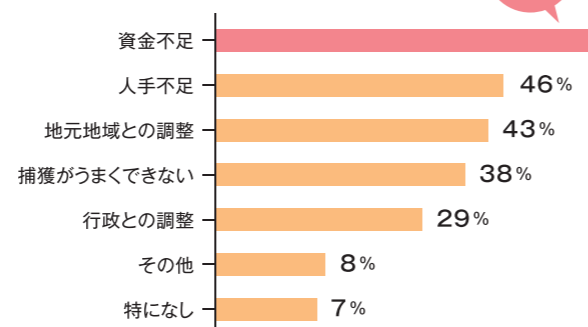
■ 協働ボランティアの性別



[活動に立ちはだかる壁。 資金不足と地元地域との調整]

今後の課題や問題点について尋ねたところ、「資金不足」が最多、次いで「人手不足」「地元地域との調整」と続きました。一般枠のボランティアは個人で活動している方が多く、医療費などの費用負担や地域住民との調整が大きな壁となっています。飼い主のいない猫の問題は本来、行政が解決すべき問題。それを善意のボランティアに押し付けている実状を変えていかなければいけません。

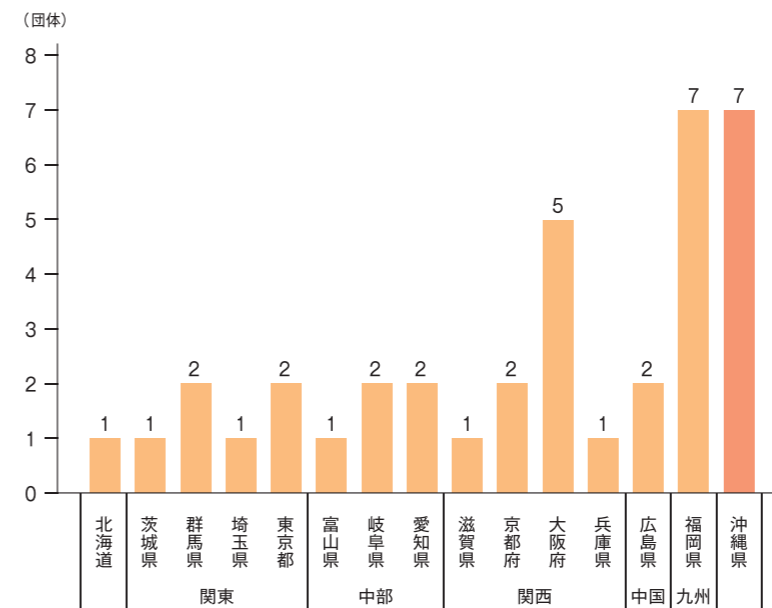
■ 今後の課題や問題(複数回答)



■ 団体枠アンケート結果

- アンケート対象となる団体枠マイページ登録団体数(2022年3月31日) **57** 団体
- 2021年度さくらねこ無料不妊手術チケット申請団体数 **43** 団体
- アンケート有効回答数 **37** 件

■ 都道府県別登録団体数(アンケート回答37団体の都道府県別)



沖縄県では、団体枠や一般枠の登録者が増加する一方、無料不妊手術チケットの受入可能数が少なく、チケット配布が困難な状況が続いています。



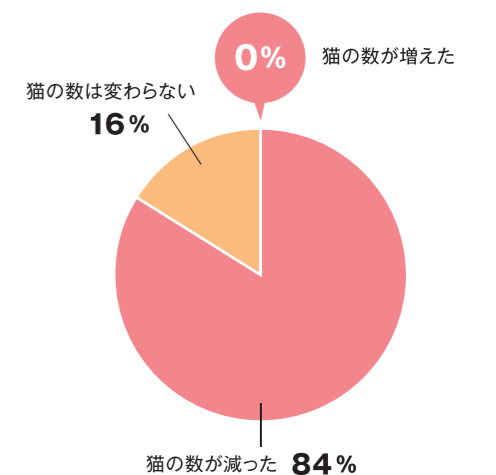
[何年たっても浸透しない従来型の地域猫活動は“絵に描いた餅”]

行政と協働することの多いボランティア団体においても、行政に認められた地域猫活動地域で活動している団体はアンケートに回答した37団体中たった2団体でした。環境省が提唱する従来型の地域猫活動は、行政・地域住民・ボランティアの三者合意が絶対。その合意を取り付けている間にどんどん猫が増え、当初想定していた予算や期間では対応できず放置される、環境省が提唱する地域猫活動の問題点です。

[猫の繁殖を抑える「さくらねこTNR」確実に効果あり!]

TNR後に猫が増えたと回答した団体はありませんでした。TNRを実施した地域の猫に関する質問では、回答した団体のうち95%が「子猫の出産が減った・ほぼゼロになった」と回答しています。そのほか、「さかり声、ケンカが減った・ほぼなくなった(70%)」「尿臭が激減した・ほぼなくなった(43%)」との回答も多く、続けることで確実に効果が出ていることがわかります。

■ TNR後の猫の数について



[行政の理解度によって広がる地域間格差]

今回のアンケートでは、行政がTNR活動に理解を示している地域とそうでない地域で、猫問題解決のスピードに大きな差が生まれているという意見が寄せられました。理解ある行政のもとボランティアが活動できている地域では、猫に関する苦情も減り、地域住民から協力者が現れるなど良い変化が見られます。無理解な行政を動かすためには、**地域猫ではなくTNR**の成功事例を1つでも多く作ることで、決して感情に訴えず冷静に効果を実証するデータを提示し、説得することが重要です。

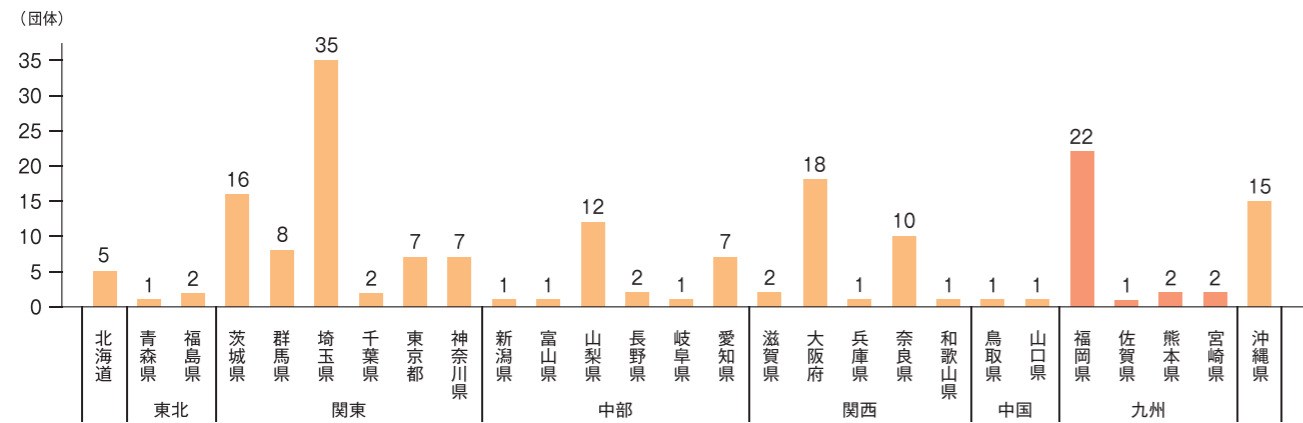


95%の行政が「来年度も活用したい」

■ 行政枠アンケート結果

- アンケート対象となる団体枠マイページ登録行政数（2022年3月31日） **358** 団体
- 2021年度さくらねこ無料不妊手術チケット申請行政数 **213** 団体
- アンケート有効回答数 **183** 件

■ 都道府県別登録行政数（アンケート回答183行政の都道府県別）



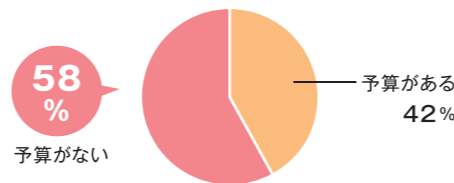
【九州での登録行政数が大幅増！TNR地域集中プロジェクトの好影響】

地域別の登録行政数では関東が128団体で最多、次いで関西61団体となっています。大都市圏に集中する傾向は何年も変わりありませんが、2021年度は九州での登録行政数が22団体→53団体へと大幅に増えた1年でした。九州での登録行政数増加は、2021年度にスタートした「TNR地域集中プロジェクト(P.5～参照)」が大きく影響していると考えています。

【制約の多い行政の助成金制度。確保した予算は有効に使われているのか？】

予算があると回答した行政に予算の使い道を探ると、不妊手術費用の助成が最多でした。しかし、行政の助成金制度はさまざまな制約が設けられていることがほとんど。回答のなかには「2021年度、地域猫活動のための予算を確保していたが申請がなかったため使用していない」という行政もありました。

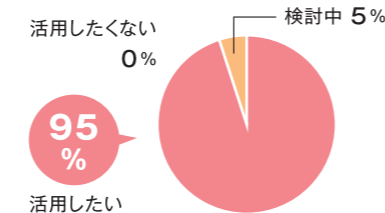
■ 2022年度 飼い主のいない猫対策の予算の有無



【95%の行政が「来年度も活用したい」と回答】

5%の行政が「検討中」と回答していますが、その理由として、人員や予算の不足、通常業務への影響などが挙げられています。行政の業務は多岐にわたっており、猫問題に専従する人員を割くことが難しいということでしょう。そうであればなおさら、民間との連携が求められます。

■ 来年度も行政枠チケットを



どうぶつ基金のチケット、行政の助成金制度とココが違う！

1. 申請がスムーズ
2. 支援決定が早い
3. 地域住民やボランティアの金銭的負担がない
4. 行政が公式に認めた地域猫活動地域以外でも使用可能

■ 多頭飼育救済枠アンケート結果

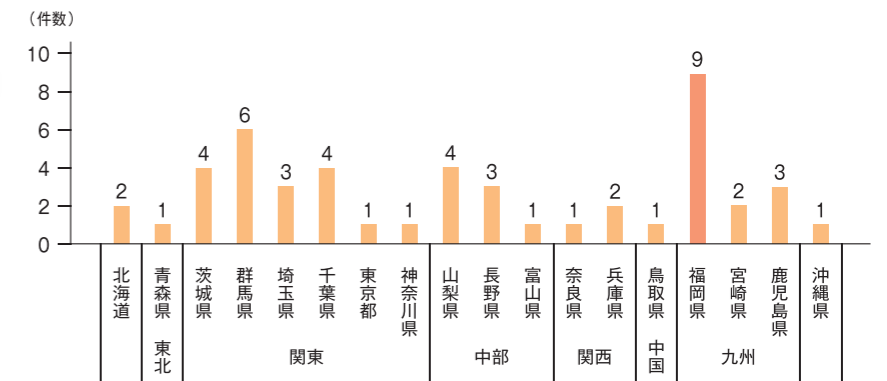
- 2021年度さくらねこ無料不妊手術 多頭飼育救済実施数 **84** 件
- アンケート有効回答数 **49** 件

複数部署で連携して 解決にあたるケースが増加

96%が動物行政（犬・猫の問題を担当する部署）からの申請でしたが、昨年度とは異なり、複数部署で連携して対応しているケースが多く見られました。福祉行政のほか、市営住宅を管理する組織等と情報を共有し、さらにボランティアの協力も得て、支援実施後も見守りやサポートに取り組む行政が少しずつ増えています。



■ 都道府県別申請数（アンケート回答49行政の都道府県別）

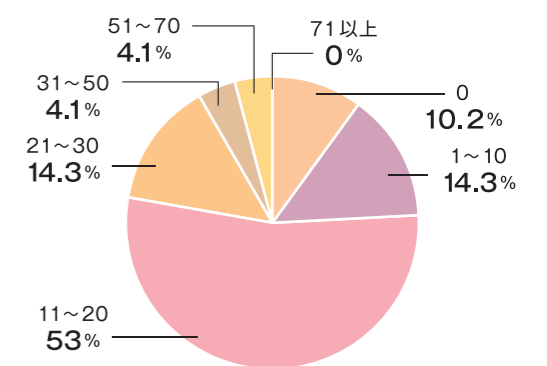


昨年度に引き続き、関東圏からの申請が多く全体の約39%を占めています。また「TNR地域集中プロジェクト(P.5～参照)」の実施地域であった福岡県からの申請が2件→12件（アンケート未回答の行政含む）と大きく増加しました。

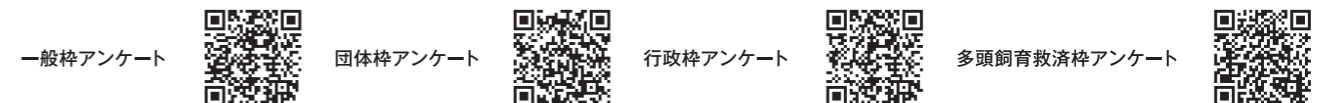
【全頭保護すべきか？手術後の猫の行き先を考える】

手術後、もとの多頭飼育現場に残った猫の平均頭数は17頭でした。どうぶつ基金の多頭飼育救済支援では、手術後に全頭もしくは一部の猫が飼い主のもとに戻るケースがほとんど。飼い主のもとで暮らしながら、少しずつ譲渡を進めて頭数を減らしていくのです。このことに対し「なぜ多頭飼育崩壊を起こした飼い主のもとに猫を戻すのか」という意見が寄せられることがあります。全頭保護は素晴らしいことではありますが、必ずしも最善の方法ではありません。全頭保護したボランティア団体が二次崩壊する危険性があるほか、当事者の精神状態に大きな影響を与えることもあり、住居の強制退去が決まっている場合などを除き、ケースバイケースで判断すべきです。

■ 手術後の猫の総数（頭）



■ 各アンケート結果の詳細をご覧ください。



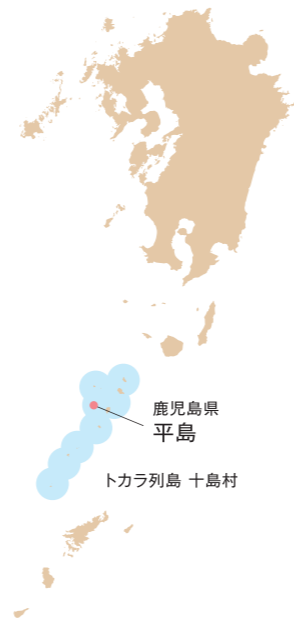


十島村 平島 (としまむら たいらじま)

「日本でいちばん長い村」から2度目のSOS。
子どもたちとともに生きる猫70頭を救いたい。

南海に浮かぶ12の島からなる十島村は、南北約160kmに及び「日本でいちばん長い村」と言われています。その十島村から2度目のSOSが届きました。現場となった平島(たいらじま)は、平家伝説が残り、昔ながらの伝統文化を大切に守りながら人々が穏やかに暮らす島です。

数年前、島内の2世帯が「お腹を空かせた猫がかわいそう」と始めた餌やり。猫はあっという間に70頭に加え、住宅地や道路、学校の敷地内を自由に行き来することで、住民間でさまざまな軋轢が生じ始めます。生まれたばかりの子猫が成猫に殺されてしまう悲惨な状況も発生していました。



鹿児島県
平島
トカラ列島 十島村

島内の有志が猫を捕獲してTNRを試みるも、動物病院のある鹿児島市内まで週にたった2便の定期船で約9時間20分。1度の定期便で運べる猫の頭数には限界があり、到底、猫の繁殖スピードには追い付きません。

そして、島内唯一の平島小・中学校では、児童・生徒が敷地内にやってくる猫たちに名前をつけてかわいがっています。子どもたちとともに生きる猫の命を奪うことなく、この問題を解決したいという行政の要請を受けて、出張による「さくらねこTNR」を行いました。

TNRはとことんやる!

2020年に「さくらねこTNR」を実施した十島村・中之島。この時に捕獲できなかった猫21頭も平島に搬送し、同時に不妊手術を実施しました。これ以降、中之島では未手術の猫は確認されていません。島外から新たに猫が持ち込まれない限り、中之島の猫は、彼らが寿命を迎えるとともに緩やかに減っていきます。TNRはとことんやる、最後の1頭までやる。これが鉄則です。

- 捕獲・処置 **82** 頭 うち手術 **82** 頭 (21頭は中之島で捕獲した猫)
- 参加獣医 **2** 名 参加ボランティア **10** 名

平島は猫問題に悩む島から、ヒトと猫が共生する「さくらねこの島」に生まれ変わりました。
61頭の「さくらねこ」は、島民に見守られながら一代限りの命を懸命に生きています。



どうぶつ基金と行政との協働事業について 一般的に「行政との協働事業」というと、行政主導の税金事業が主です。が、どうぶつ基金の場合は、逆です。税金は使わず、どうぶつ基金が皆様からお預かりした寄付金で実行します。なので知恵を絞り、究極まで無駄を省いています。



出張手術・平島

「いのちの授業」を開催

出張手術の会場となったのは平島小・中学校の体育館。休憩時間になると、いつもかわいがる猫を心配して子どもたちが様子を見に来ていました。出張手術は、命の大切さや人と動物の共生について学ぶ絶好の機会。そこで、子どもたちや学校の先生方、島民の方をお招きして「いのちの授業」を開催しました。

TNRについて説明したあと、全工程（捕獲～手術～リターン）を見学してもらいました。子どもたちはもちろん、先生方や島民の方も、実際に麻酔をかけるところや手術の様子を見るのは初めて。身近な存在である猫を通して、命について考える貴重な体験を提供することができました。

自分たちのことだけではなく、島や島の生きものとともに生きるということも考え、今回の増えすぎた猫のようにならないよう、私たち一人ひとりが考えるということ意識していきたいです。



猫が少なくなるのは少し淋しいですが、悲しい思いをする猫が少なくなるのがとても嬉しいです。



子どもたちの感想



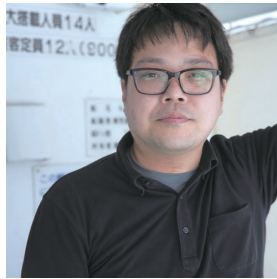
TNRや生まれたばかりの子猫が多く殺処分されてしまい、たくさん大切な命が奪われていることをこれまで知りませんでした。



獣医という仕事がどのような仕事なのか知ることができました。あらためて大切な仕事だと思い、少し興味を持ちました。

voice

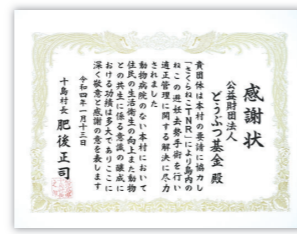
「さくらねこの島」を見守っていく



十島村役場 住民課 村民室 高倉 聡一郎

平島は鹿児島市から定期船で9時間、約80人が生活する離島です。我々の村には島内に動物病院がありません。これまで無料チケットを活用して、地域のボランティアさんが捕獲した猫を本土に運んで手術をしていました。しかし定期船が週に2便しかない十島村では、猫を手術するスピードよりも猫の繁殖の方が早くなってしまい、地域より行政に相談が寄せられました。今回この「さくらねこTNR」によって、新たに82頭のさくらねこが生まれています。今後も地域の方々と協力しながら今回誕生したさくらねこ達を見守っていききたいと思います。

十島村から感謝状をいただきました！



2020年の中之島、今回の平島と2回の出張手術を行ったことに対し、十島村から感謝状をいただきました。



三重県



三重県

三重県モデルの手応え。

これまでに**2,748**頭のさくらねこがうまれました。

(2018～2021年度の累計)

どうぶつ基金では、猫の殺処分率の減少や地域における飼い主のいない猫による糞尿被害等の問題の解決に向け、「さくらねこTNR」(TNR先行型地域猫活動)に取り組んでいる三重県と連携し、2014年度から飼い主のいない猫の無料不妊手術等を行っています。また、どうぶつ基金では行政獣医に不妊手術の技術指導を行っています。行政獣医の技術の向上により、より安全確実な手術が行われるようになりました。

本事業の実績

- 2021年度（全2回） **349** 頭（オス162頭、メス181頭、メス（妊娠）4頭、耳カット等のみ2頭）
- 2020年度（全2回） **375** 頭（オス162頭、メス205頭、耳カット等のみ8頭）
- 2019年度（全3回） **354** 頭（オス158頭、メス192頭、耳カット等のみ4頭）
- 2018年度（全6回） **613** 頭（オス262頭、メス343頭、耳カット等のみ8頭）

※ どうぶつ基金と三重県動物愛護推進センター「あすまいる」は、2017年9月に「さくらねこ不妊協働事業に関する協定」を締結しました。

2014年にスタートした協働事業は、今年で8年目を迎えました。

問題を解決するには何よりも不妊手術の先行が必要であるということから、三重県はTNR先行型地域猫活動にシフトチェンジを行っており、行政とどうぶつ基金の事業は「三重県モデル」という先進の協働事業として、継続されています。どうぶつ基金顧問の山口獣医による行政獣医への不妊手術の技術指導の成果も目覚ましく、着実に技術力の向上がみられます。三重県の殺処分率は大きく減少し、事業は確実に成果を発揮しています。どうぶつ基金はこれからも身を引き締め、殺処分ゼロを目指します。

どうぶつ基金と行政との協働事業について

一般的に「行政との協働事業」というと、行政主導の税金事業が主です。が、どうぶつ基金の場合は、逆です。税金は使わず、どうぶつ基金が皆様からお預かりした寄付金で実行します。なので知恵を絞り、究極まで無駄を省いています。





ちきゅう部



2021.4.22 happy earth day!

ちきゅう部、宣言。

どうぶつ基金が活動を進めるなかで、だんだん見えてきたのは、私たちの周りのすべての生物を取り巻く地球全体の自然環境が危機的な状況にある、ということでした。そこで、これまでの経験と知恵を活かし「全ての生物が幸せに共生でき、かつサステナブルな地球環境を実現する」ため、新たに「ちきゅう部」というセクションを、どうぶつ基金のなかに設立しよう、という思いに至りました。もともと、どうぶつ基金の定款にある目的 / ミッションは「動物の適正な飼育法の指導・動物愛護思想の普及等を行い、環境衛生の向上と思いやりのある地域社会の建設に寄与すること。」です。ここに、目指すべき未来への展望として「全ての生物が幸せで自由な地球」を加えたいと思いました。「全ての生物が幸せで自由な地球」になるには「全ての生物が幸せに共生できるサステナブルな地球環境」を実現しなければなりません。そのとき特に配慮したいと思うのは、

「いきもの目線で弱者にやさしくする。」

「ヒトの役に立つから、希少だから、という理由で命に差をつけない中長期的な視点を持つ。」

この二点です。

これは、種の保存法により特別天然記念物に指定されている国内希少野生生物種のアミノクロウサギを保存しながら、奄美大島と徳之島でさくらねこTNRミッションを遂行するなかでも強く思ったことでした。科学的にも正しい、生きものと弱者へのやさしさを、広く伝えていきたい。それができるどうぶつ基金になりたい。犬や猫だけでなく、というより、犬や猫のためにも、ほかのいきものの命も大切にしたい。人間の健康な未来も大切にしたい。これからのどうぶつ基金は、さらに幅広く活発に活動していきます。

Photo by Sagami



● ちきゅう部宣言

1. どうぶつ基金はこれまで、犬や猫が殺処分されることがなく、幸せに人と共生できる世の中を実現するため、さくらねこTNRを中心に活動してきました。
2. その活動を通して、ヒトも犬もネコもミジンコも木や花も土も水も、みんな絶妙なバランスでつながっていること、どれひとつ、ないがしろにしてはうまくいかないことに気がつきました。
3. ヒトが何かを守ろうとして他のいきものを駆除すると、絶妙なバランスが崩れ、けっか、地球全体や人の心まで壊してしまう、そんなことが現実起きています。
4. そこで地球の全体を見て考え行動する「ちきゅう部」を、アースデイ4月22日に設立します。(アースデイがバースデイです)。
5. これまでの活動で養った「常識を疑う目」で地球の全体を見ます。(「常識を疑う」姿勢を大切にします)。
6. どうぶつ基金は、ちきゅう部の設立にあたって、大ぶろしきを上げます。そして地球をやさしさを包み込みます。

2021年4月22日 アースデイ どうぶつ基金

ちきゅう部のメルマガを配信しています。

ちきゅう上のいきものや環境のことを様々なテーマでお届けしています。ぜひ一読ください!





新ロゴマーク



「さくらねこ」のどうぶつ基金から、
「すべてのいきもの」のためのどうぶつ基金へ。

2021年、どうぶつ基金は犬や猫だけでなくすべてのいきものが幸せに共生できる地球環境を実現するため「ちきゅう部」を設立。この新セクション設立を機にロゴマークを一新しました。愛らしくかつメッセージ性のある新ロゴマークは、これまでさまざまな企業・団体にブランディングサービスを提供している世界的なブランディングファーム「株式会社インターブランドジャパン」のプロボノプロジェクトにより誕生。この新ロゴマークとともに「すべてのいきものが幸せで自由な地球」を目指し、さらに幅広に、より活発に事業に取り組んでまいります。



どうぶつ基金のロゴマークには、さまざまな動物が、まるい地球の中で、人や自然と自由に幸せに共生することができる世の中を目指す、団体としての想いが込められています。



□ さくらねこ

どうぶつ基金の軸事業である「さくらねこ無料不妊手術事業」のロゴマークも生まれ変わりました。新しいさくらねこのロゴマークは、ふれあい、じゃれあい、寄り添い合って幸せに生きる猫たちの姿が象徴されています。



□ ちきゅう部

ちきゅう部のロゴマークは、野生動物を含むすべてのいきものと豊かな自然が息づく地球とハグし合って生きていく、愛のある温かい地球環境を目指す姿勢が表現されています。

新ロゴマーク開発秘話（株式会社インターブランドジャパン）

インターブランドジャパンは、地球や自然環境の保全はますます重要となるなか、本事業の「サステナブルな地球環境を実現する」というビジョンを実現するために、ブランドの力で貢献できればと考え、今回プロボノプロジェクトとして、ロゴマークのデザイン開発に取り組みました。ロゴマークデザインにおいては、どうぶつ基金が目指す姿を表現するには視覚的な世界観にグループとしての統一性を持たせ、その上で、どうぶつ基金、ちきゅう部、さくらねこの3事業を明確に区分することが必要でした。実際に現場で働く方々の想いもヒアリングしながら、各事業のシンボルマーク、ロゴ、またグローバルな事業展開を見据えた英語名称の開発を行い、自然環境保全という重要な課題を提起しながらも高尚にならず、より多くの生活者がライトな感覚でも活動を支持・支援できるようなキャッチーで魅力的なLook & Feelを構築しました。全体の表面的なトーンとしてはカジュアルで可愛い印象を形作っていますが、本質的な「支え合って生きるいのちの温もり」を少しでも大切に尊いもの、と感じてもらえるように意図しながら設計を行いました。それぞれのシンボルマークにそうした寄り添い合って生きる動物たちの姿を、同じテイストのアイコングラフィを用いて象徴化しています。

株式会社
インターブランドジャパン





■ 2021年度 メディア掲載・放映一覧 (2022年3月31日 現在)

掲載数	新聞掲載
11回	2021 4 / 9 西日本新聞 野良猫の一斉手術開始
	2021 4 / 9 朝日新聞 県内で2,000匹超えの野良猫の不妊手術
	2021 6 / 12 毎日新聞 猫250匹 多頭飼育崩壊
	2021 10 / 5 西日本新聞 花時計
	2021 11 / 6 北日本新聞 野良猫に去勢・不妊手術 さくらねこの活動
	2021 11 / 13 朝日新聞(宮崎版) 年間2,000匹超 県民8,269人の署名提出
	2021 11 / 19 西日本新聞 地域で愛される存在に 命のためにできること
	2022 2 / 19 朝日新聞(宮崎版) 不妊手術 野良猫繁殖にメス
	2022 3 / 16 有明新報 道の駅や野良猫問題 4議員が取り組み聞く
	2022 3 / 18 朝日新聞 猫不妊手術最多 宮崎市を表彰
	2022 3 / 18 読売新聞 野良猫不妊手術事業に貢献


掲載数	雑誌掲載
2回	2021 8 / 25 ノーマ・ジーン(2021年9月号) どうぶつ基金「さくらねこの無料不妊手術事業」
	2022 3 / 30 女性セブン(2022年3月31日号) どうぶつ基金「3月22日さくらねこの日」

放送数	テレビ放映
3回	2021 4 / 7 ふくサテ! 「猫の島」相島がターニングポイント どうする? 「猫との共生」
	2021 12 / 19 BS朝日「イヌネコワイドショー」 写真コンテスト
	2022 1 / 14 関西テレビ「坂上どうぶつ王国」 深島一斉TNR

384回 掲載数

ウェブニュース掲載

一覧がご覧になります。



13回 掲載数

PR TIMES掲載

一覧がご覧になります。



命のためにできること
地域で愛される存在に

「神の手」に学ぶ 若い獣医師たち

124匹 一斉に避妊去勢
「どうぶつ基金」が筑後市で

2021年11月19日 西日本新聞

野良猫の一斉手術開始
筑後市で養護団体 年間2000匹超予定

2021年4月9日 西日本新聞

野良猫の不妊手術「続けて」
年間2000件超 県民8269人の署名提出

2021年11月13日 朝日新聞(宮崎版)

野良猫不妊手術事業に貢献 宮崎市に感謝状 兵庫の財団法人

2022年3月18日 読売新聞オンライン

猫の無料不妊手術を実施する「どうぶつ基金病院福岡」が新設!

2021年4月12日 ファンファン福岡

野良猫の無料不妊手術、熊本市民限定で先行申し込み受付始まる

2022年2月17日 YAHOO!ニュース



写真・動画コンテスト

買わずに飼ってね!

いのちつないだ♥ワンニャン写真・動画コンテスト

応募総数
1,727
件

写真は、時代の証人。

12年前、この写真コンテストが始まった頃、約30万頭の犬と猫が殺処分されていました。これを何とかしたいと始めたのが「買わずに飼ってね」をキャッチフレーズにした「いのちつないだワンニャン写真コンテスト」です。12年後、殺処分数は10分の1まで減少し殺処分ゼロのゴールは見えてきました。パンデミックが進行中の今年も、変わらぬ愛にあふれた作品を残していきたいと思ひます。



■ 環境大臣賞 おやつはジャンケンで!

生粋の野良生まれで今は「さくらねこ」の兄弟。時折見せるユニークな光景は猫達の個性の豊かさを象徴していると思います。ペットショップの少ない選択肢よりもっとたくさんの猫達を見てからでも遅くない! そうですね?



voice **猫も犬も人間の相棒** 坂上大輔さん

猫たちを撮り始めて感じたことは、本当に個性豊かで、きちんと接してあげれば必ず応えてくれるということ。それは野良生まれで人間との接し方を知らない猫たちも同様です。長い歴史の中で培われた猫と人間の関係というのは切っても切れないものだと再認識できます。穀物を守る。蚕を守る。昔の猫たちは人間の相棒だったはず。人間との関係性が元に戻ることを願って——。不思議なことに、賞をいただいた後に会いに行きたいいつもの猫たちは、なんだかいつも以上に鼻高々に見えました。

Judge's comment

新しい家族に終わりのない愛を

新型コロナウイルス感染が収まらない状況のなか、人に会う、触れあうことに制限のある日々ですが、こうしてワンちゃんネコちゃんの素晴らしい写真を拝見し、まるで触れ合えたかのようなとても温かい気持ちになりました。自粛期間中に、動物を飼う人たちが増加したという話を目にすることもあります、一時のものにならず、末永く愛され続けることを願っております。



Photo by I.Susa

審査委員長 GLAMOROUS co.,ltd. 代表 森田 恭通

作者の優しさが心にしみました

昨年に引き続き、コロナ禍で写真展が中止となったことは残念ですが、写真の応募総数がこれまでで最も多かったとことで、コンテストの盛り上がりを感じております。今年は、優しい気持ちになれるような写真が印象深かったです。ワンコ部門は、みんな幸せそうな顔をしていて、その表情がわかりやすいように、ローアングルで捉えているのがよいと思いました。ニャンコ部門は、ユーモラスな場面に笑顔になりました。さくらねこ部門は、地域猫に対する愛情と、それを見守る優しい視線を感じました。



特別審査員 ハニハジメプロダクツ 八二一

■ 入賞・入選作品のフォトブックを作成しました

2020年度に引き続き、入賞・入選作品の写真展は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりました。2021年度もより多くの方に入賞・入選作品をご覧いただくため、写真展に代わってフォトブックを作成しました。

eBook(無料)でご覧になれます。



■ 啓発素材のフリー提供

どうぶつ基金では、ロゴやフライヤー・イラスト・ポスター等、活動・啓発素材の無料提供をしています。

イラスト・チラシ提供はこちら。



さくらねこ絵本が大好評!



絵本がeBookでご覧になれます。



行政による犬猫の団体譲渡事業推進のための助成金制度

1,278頭 × 7,000円

犬や猫を殺処分前に救って 新しい家族を見つける活動を支援しました。

全国各地の保健所等で行われている犬や猫の団体等譲渡制度を推進するために、団体等譲渡制度に登録し、行政から収容動物を引き取り、新しい飼い主に再譲渡している団体または個人活動家の方に、

1頭あたり、7,000円の助成を行いました。

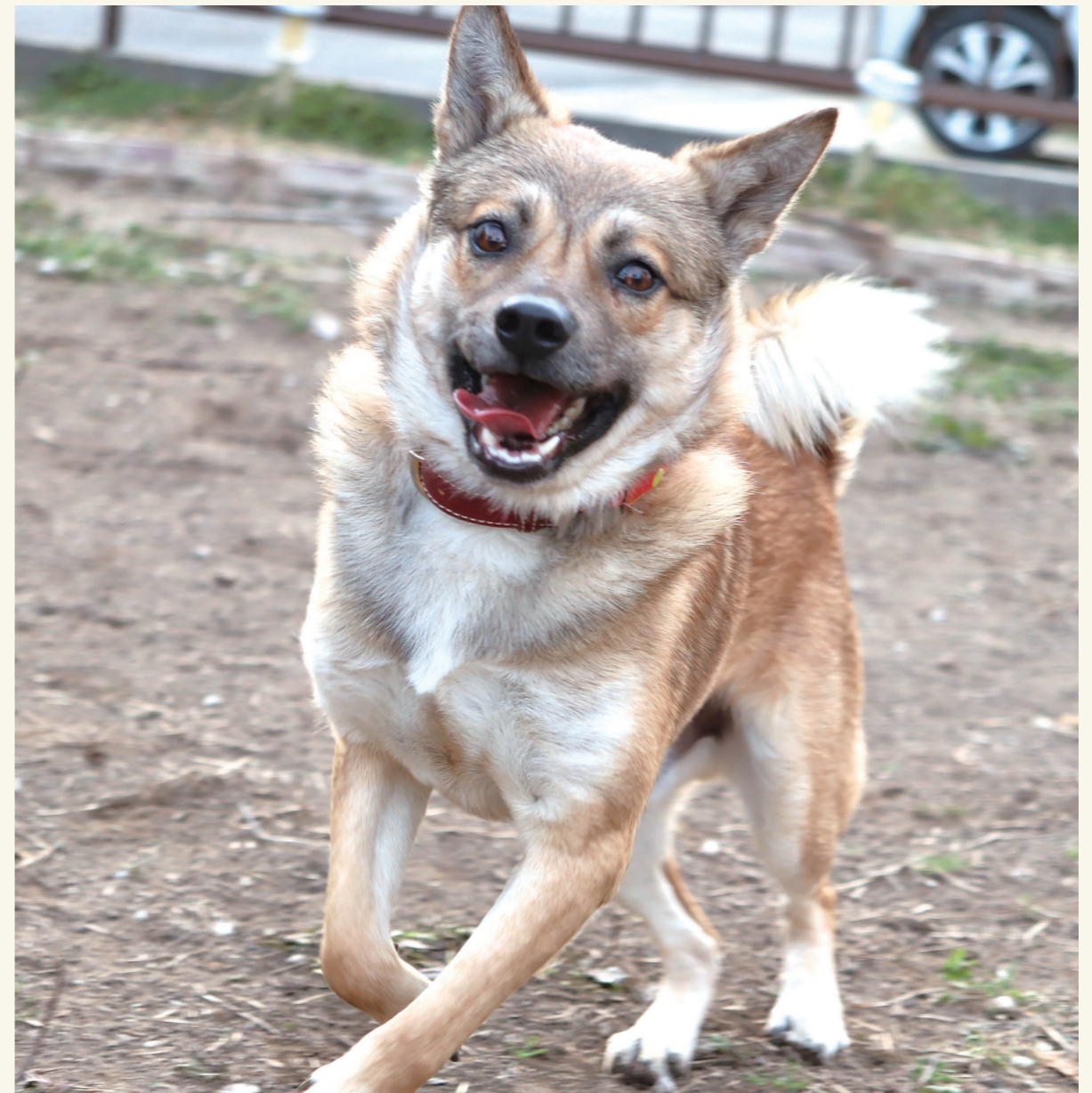
【?】 団体等譲渡制度とは

行政が運営する保健所等が、新たな飼い主を探す活動を行っている団体又は個人へ、収容された犬及び猫の譲渡を行う制度です。譲渡を受けるには、各保健所への登録が必要です。行政とボランティア団体が協力することで、より多くの収容された犬猫に家族を得るチャンスを与えることができます!

■ 2021年度助成実績

2021年度は、**1,278頭**が再譲渡され、合計 **8,946,000円**の助成を行いました。

頭数 **1,278頭** × **7,000円** = 助成金額合計 **8,946,000円**



元野犬ぼんた ぼんたは人に慣れないという理由から、生後6ヶ月で2回も保健所に捨てられるという辛い経験をしている子でした。ずっとの家族になって絶対に幸せにしてあげたいと思いました。最初は全く心を開いてくれませんでした。お茶目で優しい子に成長してくれました。今では抱っこが出来るようになりました。大好きも見つかりました。おもちゃで遊べるようにもなりました。友達もたくさんできて面倒見のいい一面を見せてくれます。毎日17時になると、得意げに遠吠えを見せてくれます。ぼんたと家族になれてよかった、心の底からそう思います。

「いのちつないだ♥ワンニャン写真・動画コンテスト 2022」入賞作品 新家 亜希子

voice

206頭の猫を保護できました



新型コロナウイルスの猛威による影響がまだまだ続くなかで、運営維持と保護活動・譲渡活動に注力せざるを得ない一年となりましたが、継続した行政収容の老猫や負傷猫の保護、また札幌市以外の地域にも目を向け、積極的に保護を行ってまいりました。その結果、昨年度のねこたまごの保護数は206頭と過去最大の頭数となりました。このような状況でも安定した活動を維持することができ、より充実した保護活動や猫たちのケアをすることができたのは、一重にご支援くださる皆様のご支援のお陰様です。本当にありがとうございます。心より感謝いたします。

非営利型一般社団法人ねこたまご 代表理事 後藤 志保



ご寄付のお願い

ご寄付のお願い

殺処分ゼロを実現するため、
あなたに合った方法で私たちの活動を支援してください。

3,000円で一頭のオスねこが…

5,000円で一頭のメスねこが…

「さくらねこ不妊手術」を受けることができます。

ご寄付をいただいた皆様に現場から感謝の声が届いています!

皆様のおかげで、私の住む地域では全70頭もの地域猫が誕生しました。もし皆様からの寄付がなければ、桜が満開になる頃にどれ程の哀しい命が産まれていたかと想像するだけでも胸が痛みます。おかげさまで今年は仔猫を見かけることなく、地域の皆様と温かい気持ちで猫たちを見守ることができています。本当に有り難うございました。!

神奈川県 H.Rさん



さくらねこに生まれ変わる猫たち、捕獲してリターンまでと短い期間ですが我が家で大切にケアしています。さくらねこサポーターの皆様のお気持ちが芽吹き、公園や裏路地やビーチで生きる外猫たちがさくらねことして花開き、一代限りの命を華やかに謳歌している姿に感謝しています。ありがとうございます。

沖縄県 A.Tさん



郵便局

00230-8-72832

公益財団法人どうぶつ基金
(コウエキザイダンホウジンドウブツキキン)



どうぶつ基金



つながる募金



YAHOO!募金

銀行

三井住友銀行 芦屋駅前支店(店番号380)
普通 4172198 公益財団法人どうぶつ基金
(コウエキザイダンホウジンドウブツキキン)

WEB寄付のお願い特設ページ [どうぶつ基金 寄付](#)

* 公益財団法人どうぶつ基金 への寄付は、税制上の優遇措置の対象となります。



公益財団法人 どうぶつ基金 659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7
寄付のお問い合わせは **0797-57-1215** (平日9:00~17:00)
contact@doubutukikin.or.jp www.doubutukikin.or.jp



さくらねこSHOP

SAKURANEKO SHOP

どうぶつ基金の新セクション「ちきゅう部」のおすすめグッズが続々登場。
人にも地球にもやさしいオーガニックコットンを使用するなど、
素材にもこだわっています。

* 利益はすべて犬やねこの救済に使われます。



BASE店



YAHOO!店



アーティストのご紹介

YAHOO! 店はTポイントをご利用いただけます。





どうぶつ基金について



公益財団法人
どうぶつ基金
ANIMAL ACTION FUND

殺処分ゼロを目指して。

公益財団法人どうぶつ基金は1988年の設立以来、

犬や猫の殺処分ゼロの実現を目指して活動を続けてきました。

基金では、殺処分ゼロを実現するために、5万5千頭におよぶ猫の無料不妊手術を始め、

無料不妊手術病院の運営や譲渡の助成金制度、

啓発イベントの開催など、様々な事業に取り組んでいます。

doubutukikin history

- 1988年 富岡操が財団法人横浜動物福祉協会を創設
- 1990年 神奈川県愛甲郡清川村に移転 シェルター運営開始
- 2005年 猫の無料不妊手術事業開始
- 2006年 佐上邦久が代表に就任 財団法人どうぶつ基金に名称変更
- 2010年 公益認定にともない名称を公益財団法人どうぶつ基金に変更
事務局を兵庫県芦屋市へ移転
いのちつないだワンニャン写真コンテスト開始（環境省後援）
- 2012年 沖縄県石垣島で初の出張による無料不妊手術
「さくらねこ」の名称誕生
- 2014年 行政による犬猫の団体譲渡事業推進のための助成金制度 開始
- 2016年 日本財団賞受賞
- 2017年 社会貢献支援財団奨励賞受賞
タイ国にて国際活動
（ソイドッグファンデーション アニマルホスピタル）
- 2018年 あまみのさくらねこ病院開設（2019年6月閉院）
奄美大島のすべての猫を対象に無料不妊手術実施
- 2019年 さくらねこTNR累計110,000頭突破
さくらねこ Japan Branding Awards2019 Winners 賞を受賞
- 2020年 さくらねこTNR累計160,000頭突破
内閣府賞勲局より「紺綬褒章」の公益団体認定
- 2021年 全国3都市（大阪・福岡・宮崎）でTNR地域集中プロジェクトを実施
さくらねこTNR累計222,222頭突破





会計報告

正味財産増減計算書 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで 公益財団法人 どうぶつ基金 (単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益	353,231,074	351,439,696	1,791,378
基本財産運用益	6,270,584	0	6,270,584
基本財産受取利息	0	0	0
基本財産受取配当金	6,270,584	0	6,270,584
受取寄付金	334,554,969	334,737,509	△ 182,540
グッズ販売収益	12,332,447	16,694,538	△ 4,362,091
雑収入	73,074	7,649	65,425
(2) 経常費用	338,881,540	309,080,283	29,801,257
事業費	336,160,427	307,237,865	28,922,562
給与手当	0	0	0
法定福利費	0	0	0
地代家賃	1,458,000	1,472,580	△ 14,580
水道光熱費	225,662	95,933	129,729
旅費交通費	1,811,092	841,612	969,480
通信費	1,019,986	965,414	54,572
荷造運賃	2,884,644	3,225,199	△ 340,555
広報費	22,385,526	48,796,054	△ 26,410,528
消耗品費	5,904,221	1,325,718	4,578,503
修繕費	53,321	310,364	△ 257,043
減価償却費	371,513	289,674	81,839
保険料	113,832	95,606	18,226
租税公課	892,103	136,000	756,103
支払手数料	4,619,232	5,753,825	△ 1,134,593
支払報酬料	9,286,097	6,823,250	2,462,847
事務手数料	12,532,338	12,207,831	324,507
諸会費	77,962	0	77,962
不妊手術援助費	260,742,173	214,322,170	46,420,003
支払助成金	8,946,000	5,415,000	3,531,000
グッズ製作費	2,834,475	5,155,907	△ 2,321,432
雑費	2,250	5,728	△ 3,478
管理費	2,721,113	1,842,418	878,695
給与手当	0	0	0
法定福利費	0	0	0
地代家賃	162,000	163,620	△ 1,620
水道光熱費	25,075	10,660	14,415
旅費交通費	201,233	93,513	107,720
通信費	113,333	107,269	6,064
荷造運賃	320,516	358,357	△ 37,841
消耗品費	656,025	147,303	508,722
修繕費	5,925	34,486	△ 28,561
減価償却費	41,281	32,187	9,094
保険料	12,648	10,624	2,024
租税公課	28,281	2,100	26,181
支払手数料	114,095	123,522	△ 9,427
支払報酬料	1,031,788	758,140	273,648
諸会費	8,663	0	8,663
雑費	250	637	△ 387
評価損益調整前当期増減額	14,349,534	42,359,413	△ 28,009,879
基本財産評価損益等	18,233,379	18,988,352	△ 754,973
評価損益等計	18,233,379	18,988,352	△ 754,973
当期経常増減額	32,582,913	61,347,765	△ 28,764,852
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	32,582,913	61,347,765	△ 28,764,852
法人税、住民税及び事業税	391,100	0	391,100
当期一般正味財産増減額	32,191,813	61,347,765	△ 29,155,952
一般正味財産期首残高	149,183,676	87,835,911	61,347,765
一般正味財産期末残高	181,375,489	149,183,676	32,191,813
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	181,375,489	149,183,676	32,191,813

貸借対照表 令和4年3月31日現在 公益財団法人 どうぶつ基金 (単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	43,875,512	37,966,769	5,908,743
売掛金	1,854,385	1,104,191	750,194
商品	1,857,201	2,857,477	△ 1,000,276
前払費用	1,356,145	10,578,682	△ 9,222,537
流動資産合計	48,943,243	52,507,119	△ 3,563,876
2 固定資産			
基本財産	89,367,964	72,685,313	16,682,651
投資有価証券	89,367,964	72,685,313	16,682,651
特定資産	61,000,000	45,000,000	16,000,000
TNR事業積立資産	0	45,000,000	△ 45,000,000
TNR事業拡大積立資産	61,000,000	0	61,000,000
その他の固定資産	13,070,704	778,168	12,292,536
工具器具備品	407,204	418,168	△ 10,964
差入保証金	360,000	360,000	0
ソフトウェア仮勘定	12,303,500	0	12,303,500
固定資産合計	163,438,668	118,463,481	44,975,187
資産合計	212,381,911	170,970,600	41,411,311
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	30,261,952	21,687,905	8,574,047
未払法人税等	391,100	0	391,100
未払消費税	224,100	0	224,100
預り金	129,270	99,019	30,251
流動負債合計	31,006,422	21,786,924	9,219,498
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	31,006,422	21,786,924	9,219,498
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(89,367,964)	(72,685,313)	(16,682,651)
(うち特定資産への充当額)	(61,000,000)	(45,000,000)	(16,000,000)
正味財産合計	181,375,489	149,183,676	32,191,813
負債及び正味財産合計	212,381,911	170,970,600	41,411,311

doubutukikin 2021



どうぶつ基金は、人とどうぶつが
幸せに共生できる社会づくりに貢献します。